

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第四小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「知識・技能」について、5・6年生で目標値を上回った。繰り返し漢字の読み書きに取り組ませたり、言葉の使い方についての学習を丁寧に行ったりしたことで、語彙力が高まった成果だと考えられる。

(2) 課題

- ・言葉の働きやきまりについての理解を定着させていく必要がある。
- ・相手や目的・意図に応じて文章を組み立てて書く力が十分ではない。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	目標値を5.5ポイント下回った。		
第5学年	目標値を2.2ポイント上回った。達成率は昨年度より2.9ポイント上昇した。	令和4年度の4年生の目標値を1.8ポイント上回った。	
第6学年	目標値を1.8ポイント上回った。達成率は昨年度より2.9ポイント上昇した。	令和4年度の5年生の目標値を0.5ポイント下回った。達成率は令和3年度より2.4ポイント上昇した。	令和3年度の4年生の目標値を0.4ポイント上回った。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
4年生は、目標値に比べ7.2ポイント下回った。ローマ字表記を読む問題や、主語と述語の関係を問う問題についての正答率が特に低い。	4年生は、目標値に比べ6.7ポイント下回った。説明的文章の読み取りでは、叙述を基に段落の内容を捉えたり、中心となる語や文を見付けて要約したりする問題についての正答率が低い。	4年生は、目標値に比べ10ポイント下回った。自分の考えを明確にしなが、最後まで文章を書くことができる児童が少ない。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
5年生は、目標値に比べ6.3ポイント上回った。6年生は、目標値に比べ3.9ポイント上回った。漢字を書く問題や文法に関する問題についての正答率が低い。	5年生は、目標値に比べ0.7ポイント下回った。6年生は、目標値に比べ0.6ポイント下回った。資料を基にして、指定された段落構成で自分の考えを文章に表す問題についての正答率が低い。	5年生は、目標値に比べ7.9ポイント下回った。6年生は、目標値に比べ1ポイント上回った。自分の考えを明確にしなが、最後まで文章を書くことができる児童が少ない。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
漢字ドリルや漢字練習帳を計画的に使い、漢字の読み方、書き順、使い方が確実に覚えられるように家庭学習や小テストに取り組む。長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方などを理解して、適切に文の中で使えるようにするために、積極的に「書くってのしいね」を活用する。	互いの話を集中して聞き、話題に沿って話したり聞いたりすることができるようにペアや小グループ、全体での話をする活動に取り組む。 自分の経験した事柄を順序良く書けるように日記を書く活動に取り組む。 役割読みや、絵・写真等を読解の手がかりとする学習を通して、物語文は豊かに、説明文は的確に読み取れるようにする。	意欲的に学習することができるように、身近なことや経験したことを題材にした学習に取り組む。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
漢字の読み書きや使い方、またローマ字表記の読み方について、練習を家庭でも繰り返し行うようにし、家庭学習や小テストに計画的に取り組む。 主語と述語の関係について、文章を書いたり読んだり活動の中で継続的に取り扱い、正しく理解できるようにしていく。	互いの共通点や相違点を考えて話したり聞いたりすることができるようにペアや小グループ、学級全体で話し合う活動に取り組む。 段落相互の関係を考えながら、様子や気持ちがより効果的に伝わるように表現を工夫して文章を書く活動に取り組む。 説明的文章の学習では、段落相互の関係を的確につかみ、文章の要点を正しく理解できるようにするため、ワークシートを活用したり、板書を工夫したりする。	自らすすんで学習することができるように、目的に合わせた様々な題材に取り組む。 教科学習と図書室での読書を意図的・計画的に関連させることで、読む本のジャンルを広げ、積極的に読書する態度を育む。 学習の見通しをもたせ、主体的に学習が進められるようにすることで、課題をやり遂げる達成感を味わわせる。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
国語辞典を活用し、調べる習慣をつけ、語彙力を高める。 漢字の定着を図るために小テストを繰り返し行うようにし、家庭学習にも取り組む。 文法についての知識が定着するよう、文章を読んだり書いたりする学習においても継続的に取り上げ、理解が深まるようにする。	互いの立場や意図をはっきりさせながら計画的に話したり聞いたりすることができるように提案や討議などの活動に取り組む。 テーマや課題に応じて、文章全体の構成を考えながら、自分の考えを明確にして文章を書く活動に取り組む。書く際には相手意識や目的意識をもたせる。 物語文や説明文の学習では、人物同士の関わりや情景を手がかりにして中心人物の心情を想像豊かに捉えたり、叙述に注意しながら要旨を的確に捉え、自分の考えを表現したりする活動に取り組む。	考えを広げたり深めたりしながら学習することができるように、目的や意図に合わせた様々な題材に取り組む。 学習の見通しをもたせ、主体的に学習が進められるようにする。 学習の振り返りの時間を計画的に設定し、単元を通して学んだことを実感できるようにする。